



2024年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL https://www.sanki-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北越 達男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 川崎 理 (TEL) 079-289-4411
 定時株主総会開催予定日 2024年8月28日 配当支払開始予定日 2024年8月29日
 有価証券報告書提出予定日 2024年8月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期の連結業績(2023年6月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	19,430	31.9	736	28.1	758	31.0	467	3.3
2023年5月期	14,733	27.2	575	160.0	579	157.9	452	193.7

(注) 包括利益 2024年5月期 517百万円(13.8%) 2023年5月期 455百万円(193.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	72.77	—	11.6	8.9	3.8
2023年5月期	73.25	—	13.2	8.6	3.9

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 一百万円 2023年5月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	8,612	4,214	48.9	655.09
2023年5月期	8,353	3,833	45.9	596.79

(参考) 自己資本 2024年5月期 4,214百万円 2023年5月期 3,833百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	1,038	△220	△342	1,477
2023年5月期	△1,067	△40	310	998

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年5月期	—	0.00	—	23.00	23.00	149	31.4	4.2
2024年5月期	—	0.00	—	20.00	20.00	128	27.5	3.2
2025年5月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00		22.4	

(注) 2023年5月期期末配当金の内訳 普通配当 19円00銭 特別配当 4円00銭

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	21,450	10.4	1,034	40.4	1,037	36.7	633	35.3	98.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期	6,583,485株	2023年5月期	6,583,485株
② 期末自己株式数	2024年5月期	150,491株	2023年5月期	159,811株
③ 期中平均株式数	2024年5月期	6,429,575株	2023年5月期	6,183,690株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年5月期の個別業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	16,739	19.1	742	17.0	742	16.0	452	3.9
2023年5月期	14,054	24.7	634	181.8	640	179.0	435	196.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後1株当 たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年5月期	70.19		—					
2023年5月期	69.90		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	7,209	4,119	57.1	640.37
2023年5月期	7,310	3,867	52.9	595.12

(参考) 自己資本 2024年5月期 4,119百万円 2023年5月期 3,867百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年7月18日にアナリスト及び機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、2024年7月18日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、急激な物価上昇、部分的な供給制約等が続き、依然として先行き不透明な状況で推移するものと予想しております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、昨今のエネルギーコスト高騰に起因する設備維持管理費用の削減ニーズは高く推移しております。当社グループでは、お客様の設備状況に合わせてカスタマイズした省エネサービスを提案し、過剰なエネルギー消費を抑制することで、持続可能な社会の実現に貢献できる取り組みを進めております。

また、2022年7月11日付で公表した新中期経営計画（2023年5月期～2025年5月期）において、2030年の目指す姿として「安心・快適な空間のインフラを技術・データ・ITでプロデュース（クリエイト）する会社」を掲げた上で、2023年5月期からの3年間を収益基盤強化期と位置付けております。2030年へ向けて当社の提供するトータルメンテナンスサービス、環境ソリューションサービス及びメンテナンスサービスで保有する技術を、より広く、より深く、深化（進化）していくことで、当社のMISSIONである「空間インフラのもと快適、ずっと安心な空間を提供すること」に繋がり、お客様により良いサービスが提供できると考えております。次年度は中期経営計画の最終年度であり、サービス拡充とさらなる領域拡大に一層力をいれて取り組み、目指す姿へ邁進してまいります。

このような環境下において、当社グループは、長年培ってきたサービスエンジニアの技術力、ノウハウ、組織力を核にし、お客様の保有する建物の設備の修理や保全メンテナンスを広エリアで一括アウトソーシングしていただくトータルメンテナンスサービスや、データ分析に裏付けられた予防保全、省エネ設備更新等の事業拡大に注力してまいりました。また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（大型吸収式冷温水機をはじめとして小型パッケージエアコン等の各種空調機器を扱うことができること）を推進することや新入社員の早期育成を行うために、当社保有の研修センターで、実際に修理や導入される機器を用いた研修を行っております。

この結果、当連結会計年度につきましては、前期より始まったトータルメンテナンスサービスや空調設備改善工事が順調に推移したことが、売上の増加に大きく寄与しました。また、付加価値の高い環境ソリューションサービスにおける省エネ工事の引き合いが増加傾向にあります。加えて、2022年12月1日より新しく連結対象となった株式会社兵庫機工の影響や、技術力の強化や営業活動の成果が現れた結果、売上高は19,430,983千円(前年同期比31.9%増)を計上しました。

当社の従来の強みである、幅広い空調・給排水メンテナンス・工事に対応できる技術力、全国各地への網羅的かつ広い対応力、地道に積み上げた実績と信用力等により、今期は主に小売業の既存顧客にご評価頂き、受託エリアや管理店舗数拡大などの好影響がありました。また、当社サービスエンジニアがメンテナンスだけではなく多種多様な空調工事にも対応できる多能工化のさらなる進化や、これまで取り組んできた粗利改善・M&Aといった各種プロジェクトの効果によって生産性が上がり、売上総利益は4,137,385千円(前年同期比22.3%増)となりました。

また、販売費及び一般管理費は、中期経営計画を見据えて採用や教育といった人的資本の拡充に取り組んだことにより、3,400,771千円(前年同期比21.1%増)となりました。これらの結果、営業利益は736,613千円(前年同期比28.1%増)、経常利益は758,787千円(前年同期比31.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は467,894千円(前年同期比3.3%増)となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

当社グループのセグメントはこれまで単一セグメントでありましたが、前第3四半期連結会計期間末より株式会社兵庫機工を株式交換完全子会社として連結子会社化したことに伴い、「建設関連製品サービス事業」を新たに報告セグメントとして追加し、「メンテナンス事業」及び「建設関連製品サービス事業」の2区分に変更しております。

メンテナンス事業におきましては、主に空調機器、厨房機器、電気設備及び給排水衛生設備等のあらゆる設備のメンテナンスを行っております。建設関連製品サービス事業におきましては、主に各種建物を対象とした金属製ドア・シャッター・サッシの製造及び販売、取付工事を行っております。

	メンテナンス事業	建設関連製品サービス事業
売上高 (前年同期比)	17,459,021千円 (21.3%増)	1,971,961千円 (474.0%増)
セグメント利益 (前年同期比)	696,853千円 (12.5%増)	39,759千円 (-)

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ81,697千円増加し7,033,908千円となりました。主な要因は、現金及び預金が549,403千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が112,545千円、未成工事支出金が295,628千円それぞれ減少したこと等によります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ177,875千円増加し1,578,677千円となりました。主な要因は、土地が120,800千円、投資有価証券が71,882千円それぞれ増加したこと等によります。

これらの結果、当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ259,573千円増加し8,612,585千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ55,062千円減少し3,520,611千円となりました。主な要因は、支払手形及び工事未払金が142,409千円増加した一方で、未払法人税等が210,193千円減少したこと等によります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ65,950千円減少し877,790千円となりました。主な要因は、長期借入金137,569千円減少したこと等によります。

これらの結果、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ121,013千円減少し4,398,401千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ380,587千円増加し4,214,183千円となりました。主な要因は、利益剰余金が320,150千円増加したこと等によります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ478,165千円増加し1,477,144千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,038,669千円(前年同期は1,067,497千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が715,857千円、棚卸資産の減少額が297,648千円あったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は220,478千円(前年同期は40,059千円の支出)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が86,909千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が79,185千円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は342,020千円(前年同期は310,037千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が201,107千円、配当金の支払額が147,694千円あったこと等によります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「安心・快適な空間のインフラを技術・データ・ITでプロデュース(クリエイト)する会社」として、お客様に快適な空間と時間、そして安心を提供するために、設備機器の修理対応だけでなく、多店舗多棟展開している小売・飲食・医療・介護・福祉・デベロッパー・学校等を中心に、突発的な故障の発生を減少させるための保全メンテナンスの提案も積極的に行っております。

また、設備メンテナンスだけでなく設備機器更新工事、店舗改装工事、省エネ提案等の店舗運営に関わる設備全般を幅広くサポートしております。

さらに、コスト削減のために引き続き社内メンテナンスエンジニアにより内製化率を上げるとともに、設備機器の実機による研修等で人材を育成することで事業拡大を図ってまいります。

引き続き、2022年7月11日に公表致しました『新中期経営計画(SANKI NEXT STAGE2025)』を推進し、当社グループの継続的な企業価値の向上と事業の拡大のため、重点施策「0.サステナビリティ(ESG)経営」「1.事業規模の拡大」「2.成長投資」「3.付加価値向上」「4.人材育成」に一丸となり努めてまいります。

なお、2025年5月期の業績見通しは、以下のとおりであります。

セグメント別の見通しにつきましては、当社グループの報告セグメントにおけるメンテナンス事業の比率が高いため、記載を省略しております。

連結業績の見通し	売上高	21,450百万円	(前年同期比10.4%増)
	営業利益	1,034百万円	(前年同期比40.4%増)
	経常利益	1,037百万円	(前年同期比36.7%増)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,524,485	2,073,888
受取手形、売掛金及び契約資産	4,514,468	4,401,923
未成工事支出金	397,262	101,633
原材料及び貯蔵品	39,909	37,895
その他	476,917	422,529
貸倒引当金	△833	△3,962
流動資産合計	6,952,210	7,033,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	617,899	684,492
減価償却累計額	△294,299	△361,602
減損損失累計額	△6,311	△6,311
建物及び構築物(純額)	317,288	316,577
機械装置及び運搬具	136,021	167,455
減価償却累計額	△104,691	△101,648
機械装置及び運搬具(純額)	31,330	65,806
工具、器具及び備品	42,240	47,632
減価償却累計額	△36,912	△41,031
減損損失累計額	—	△645
工具、器具及び備品(純額)	5,328	5,955
土地	175,207	296,007
リース資産	48,817	38,920
減価償却累計額	△26,544	△22,949
減損損失累計額	—	△33
リース資産(純額)	22,272	15,937
有形固定資産合計	551,427	700,285
無形固定資産		
ソフトウェア	168,185	109,868
のれん	—	27,531
リース資産	6,183	2,816
その他	8,885	3,233
無形固定資産合計	183,253	143,449
投資その他の資産		
投資有価証券	198,302	270,184
長期前払費用	123,362	128,240
退職給付に係る資産	33,085	30,449
繰延税金資産	203,849	177,427
その他	112,320	135,840
貸倒引当金	△4,800	△7,200
投資その他の資産合計	666,120	734,942
固定資産合計	1,400,801	1,578,677
資産合計	8,353,011	8,612,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び工事未払金	1,818,049	1,960,458
短期借入金	64,760	80,545
1年内返済予定の長期借入金	196,268	204,031
リース債務	6,859	4,429
未払法人税等	294,045	83,852
賞与引当金	265,860	195,306
その他	929,830	991,987
流動負債合計	3,575,674	3,520,611
固定負債		
長期借入金	549,231	411,662
リース債務	16,183	14,756
役員退職慰労引当金	48,130	51,260
退職給付に係る負債	143,003	156,954
資産除去債務	17,126	17,336
長期末払金	150,885	150,885
繰延税金負債	19,082	41,569
損害補償引当金	—	31,420
その他	100	1,945
固定負債合計	943,741	877,790
負債合計	4,519,415	4,398,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	616,652	616,652
資本剰余金	1,080,970	1,081,627
利益剰余金	2,277,924	2,598,074
自己株式	△141,946	△132,150
株主資本合計	3,833,601	4,164,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,726	44,403
為替換算調整勘定	3,721	5,576
その他の包括利益累計額合計	△5	49,979
純資産合計	3,833,596	4,214,183
負債純資産合計	8,353,011	8,612,585

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	14,733,528	19,430,983
売上原価	11,349,731	15,293,597
売上総利益	3,383,796	4,137,385
販売費及び一般管理費	2,808,635	3,400,771
営業利益	575,160	736,613
営業外収益		
受取利息	143	167
受取配当金	1,632	4,581
受取家賃	1,379	2,258
受取手数料	1,008	1,155
為替差益	641	2,579
受取報奨金	1,318	5,038
受取賠償金	—	5,494
その他	1,146	6,787
営業外収益合計	7,269	28,063
営業外費用		
支払利息	1,511	3,355
租税公課	400	1,940
株式報酬費用	1,039	40
その他	189	553
営業外費用合計	3,141	5,889
経常利益	579,289	758,787
特別利益		
退職給付制度改定益	24,192	—
固定資産売却益	483	899
負ののれん発生益	73,200	—
保険解約返戻金	—	8,004
その他	—	444
特別利益合計	97,876	9,348
特別損失		
固定資産除却損	—	45
減損損失	—	5,532
損害補償引当金繰入額	—	31,420
和解金	—	15,280
特別損失合計	—	52,278
税金等調整前当期純利益	677,166	715,857
法人税、住民税及び事業税	287,717	206,173
法人税等調整額	△63,476	41,790
法人税等合計	224,240	247,963
当期純利益	452,926	467,894
親会社株主に帰属する当期純利益	452,926	467,894

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益	452,926	467,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,355	48,130
為替換算調整勘定	870	1,854
その他の包括利益合計	2,225	49,984
包括利益	455,151	517,879
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	455,151	517,879

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	616,652	504,352	1,913,902	△15,305	3,019,603
当期変動額					
剰余金の配当			△88,904		△88,904
親会社株主に帰属する当期純利益			452,926		452,926
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		617		8,360	8,977
株式交換による増加		576,000		△135,000	441,000
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	576,617	364,021	△126,640	813,998
当期末残高	616,652	1,080,970	2,277,924	△141,946	3,833,601

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△5,082	2,851	△2,230	3,017,372
当期変動額				
剰余金の配当				△88,904
親会社株主に帰属する当期純利益				452,926
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				8,977
株式交換による増加				441,000
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,355	870	2,225	2,225
当期変動額合計	1,355	870	2,225	816,223
当期末残高	△3,726	3,721	△5	3,833,596

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	616,652	1,080,970	2,277,924	△141,946	3,833,601
当期変動額					
剰余金の配当			△147,744		△147,744
親会社株主に帰属する当期純利益			467,894		467,894
自己株式の取得				△102	△102
自己株式の処分		656		9,898	10,554
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	656	320,150	9,795	330,602
当期末残高	616,652	1,081,627	2,598,074	△132,150	4,164,203

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△3,726	3,721	△5	3,833,596
当期変動額				
剰余金の配当				△147,744
親会社株主に帰属する当期純利益				467,894
自己株式の取得				△102
自己株式の処分				10,554
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	48,130	1,854	49,984	49,984
当期変動額合計	48,130	1,854	49,984	380,587
当期末残高	44,403	5,576	49,979	4,214,183

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	677,166	715,857
減価償却費	126,232	140,300
減損損失	—	5,532
のれん償却額	—	1,449
負ののれん発生益	△73,200	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	162	1,950
賞与引当金の増減額 (△は減少)	133,786	△72,278
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	4,981	2,635
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,953	13,951
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	3,130
損害補償引当金の増減額 (△は減少)	—	31,420
受取利息及び受取配当金	△1,776	△4,748
支払利息	1,511	3,355
株式報酬費用	26,733	17,026
退職給付制度改定損益 (△は益)	△24,192	—
和解金	—	15,280
固定資産除売却損益 (△は益)	△483	△854
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,156,291	134,073
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△121,856	297,648
仕入債務の増減額 (△は減少)	328,484	121,232
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△98,255	46,869
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	201,536	△17,685
その他	696	401
小計	△969,812	1,456,547
利息及び配当金の受取額	1,776	4,748
利息の支払額	△1,612	△2,830
法人税等の支払額	△97,848	△427,103
法人税等の還付額	—	7,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,067,497	1,038,669
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,007	△86,909
定期預金の払戻による収入	—	60,002
有形固定資産の取得による支出	△1,699	△55,576
有形固定資産の売却による収入	483	900
無形固定資産の取得による支出	△11,149	△38,003
投資有価証券の取得による支出	△592	△882
資産除去債務の履行による支出	—	△3,064
敷金及び保証金の差入による支出	△2,698	△7,164
敷金及び保証金の回収による収入	1,889	967
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△79,185
長期前払費用の取得による支出	△6,676	△7,002
その他	△1,607	△4,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,059	△220,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,760	14,713
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△99,848	△201,107
配当金の支払額	△88,849	△147,694
自己株式の取得による支出	△0	△102
その他	△16,025	△7,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	310,037	△342,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	836	1,995
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△796,683	478,165
現金及び現金同等物の期首残高	1,524,884	998,978
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	270,777	—
現金及び現金同等物の期末残高	998,978	1,477,144

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、建物設備のメンテナンス・維持管理、ソリューション提案(省エネ・省コスト提案)を行うメンテナンスサービスとそこから派生するリニューアル工事を手がけるメンテナンス事業と、鋼製特殊扉の製造及びそれに付随する建具工事や、建具類の仕入販売を行う建設関連製品サービス事業を展開しております。

従って、当社グループは、事業の内容別に区分されたセグメントから構成されており、「メンテナンス事業」及び「建設関連製品サービス事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「メンテナンス事業」は、主に空調機器、厨房機器、電気設備及び給排水衛生設備等のあらゆる設備のメンテナンスを行っております。

「建設関連製品サービス事業」は、主に各種建物を対象とした金属製ドア・シャッター・サッシの製造及び販売、取付工事を行っております。

なお、2023年12月1日に長沼冷暖房株式会社の株式を取得し、同社を当社の連結子会社とし連結の範囲に含めたことで、当連結会計年度より「メンテナンス事業」に含めて開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	メンテナンス事業	建設関連製品サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,389,995	343,533	14,733,528	—	14,733,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,389,995	343,533	14,733,528	—	14,733,528
セグメント利益又は損失(△)	619,487	△44,327	575,160	—	575,160
セグメント資産	6,726,119	1,626,892	8,353,011	—	8,353,011
その他の項目					
減価償却費	121,339	4,893	126,232	—	126,232
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	19,140	12,277	31,418	—	31,418

(注) セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	メンテナンス 事業	建設関連製品 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,459,021	1,971,961	19,430,983	—	19,430,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,459,021	1,971,961	19,430,983	—	19,430,983
セグメント利益	696,853	39,759	736,613	—	736,613
セグメント資産	6,904,353	1,708,231	8,612,585	—	8,612,585
その他の項目					
減価償却費	121,189	19,111	140,300	—	140,300
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	59,906	36,847	96,753	—	96,753

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、新規連結に伴う増加額を含めておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)ライフコーポレーション	1,655,076	メンテナンス事業
パナソニック産機システムズ(株)	1,631,309	メンテナンス事業

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ローソン	2,195,560	メンテナンス事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	連結財務諸表計上額
	メンテナンス事業	建設関連製品サービス事業	計		
減損損失	5,532	—	5,532	—	5,532

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	メンテナンス事業	建設関連製品サービス事業	計		
当期償却額	1,449	—	1,449	—	1,449
当期末残高	27,531	—	27,531	—	27,531

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

「建設関連製品サービス事業」セグメントにおいて、当社を株式交換完全親会社、株式会社兵庫機工を株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、負ののれん発生益73,200千円を計上しております。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり純資産額(円)	596.79	655.09
1株当たり当期純利益(円)	73.25	72.77

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	452,926	467,894
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	452,926	467,894
普通株式の期中平均株式数(株)	6,183,690	6,429,575

(重要な後発事象)

該当事項はありません。